

こくろう秋田

国鉄労働組合
秋田地方本部
(秋田市中通
7-2-21)
018-832-3775
発行責任者
瀬下 一司
編集責任者
佐藤 浩一

雇用確保！ 格差・貧困打破！ 大幅賃上げによる経済の悪循環を打開し 二〇一〇年春闘勝利へ！

秋田県春闘懇二〇一〇春闘決起集会開催

1月9日、アキタビューホテルを会場に県内の労働組合員69名が参加し「秋田県春闘懇2010年春闘決起集会」が開催された。(地本・瀬下委員長、佐藤浩一執行委員、秋総連七支部から加賀谷章夫執行委員が参加) 司会は高教組大塚書記長。主催者を代表し、県労連の佐々木議長が「昨年は派遣切り等で仕事に就けないため、やむなく実家に帰って親に面倒を看てもらおう里帰りによって県の人口が転入増という皮肉な現象が生まれ、今日の雇用をめぐる状況はこういう形で秋田県にも現われてきている」と挨拶を行った。



全労連大黒議長

◆講演要旨◆
総選挙における民主党の地滑りの勝利の力は、①民主党が参院選を機に「構造改革」の流れを変えたいと願う国民の声に方向転換したこと、②地方の「三位一体改革」や町村合併などで地場産業や農業が衰退し自民党離れが進んだことだ
・鳩山内閣は「子供手当」「高校授業料無償化」など一部期待にこたえる部分もあるが、日米同盟絶対化や大企業優遇の点ではこれまでの自公政権と変わる
・2010春闘は雇用と社会保障という2つの軸を中心に闘う。「社会保障闘争は第2の賃金闘争」と位置づけた議論を開始する時期にきている
・内需中心の経済へ体質改善させなければならない。最賃大幅

2010年春闘 平均要求額は45,304円

《「2010春闘要求アンケート」秋田地方本部関係の調査結果》

- 集約数 173 JR東日本-163名、JR貨物-10名(嘱託5含む)
 - 平均組合員像—51.9歳、勤続32.7年、家族構成3.8人
- 9月分の総支給額(9月分賃金総額)は374,934円(嘱託含む)

- 毎月の赤字額は？ その補てんはどうしていますか？
毎月の赤字平均額 36,066円
赤字の補てん ①期末手当 98.1% ②預貯金から 81.1%
- 節約している支出は何ですか？
①外食 15.8% ②衣類 15.2% ③旅行 15.2%
- 夏季手当は何に使いましたか？
①生活費 20.3% ②預金 19.6% ③借金返済 15.0%
- 住宅関係の借金返済の状況
・月々の返済 50,697円 ・夏季手当 218,877円 ・冬季手当 223,260円
- 借金をしている理由は何ですか？
①住宅購入 35.7% ②耐久品購入 24.8% ③教育費 16.5%
- 貯蓄の目的は何ですか？
①借金返済 29.1% ②家計補てん 26.2% ③老後の備え 21.9%
- 今の生活で改善したい項目は何ですか？
①税金 16% ②年金 14.6% ③労働条件 10.9%
- 今の生活程度は？
①満足 1.8% ②やや満足 11.2% ③何とも言えない 26.0%
④やや不満足 37.3% ⑤不満足 23.7%
- 2010春闘におけるあなたの要求額は？
①～3万円 20.8% ②～5万円 15.5% ③～5万円 20.8%
平均要求額 45,304円

引き上げ、非正規の正社員化、サービスマン根絶で116万人の雇用創出。有給休暇完全取得で16兆円の経済効果、188万人の雇用創出との試算もある
・派遣切り等の闘いや組織化の前進などで労働組合の社会的影響力と存在感は飛躍的に高まってきた。労働組合が身近に感じられ、組織化の垣根が低く

なってきた
講演に続く決意表明は、秋田医労連・佐竹副委員長、建交労秋田県本部・田中書記長、YD C労組・渡辺委員長の名がそれぞれ別の闘いの報告と決意を述べた。

閉会のあいさつを行い、参加者全員の団結がなばらうで終了した。
※集会終了後は会場を移して「秋田県労連結成20周年・旗開き」が開催され、来賓挨拶、県労連の闘いのスライドや、歴代議長の名刺、アトラクションなど盛会のうちに終了した。